

# 1 部

学習サポート

## 2 / 7 ~ 3 / 31の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

### ■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
2月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	2月10日(月) ※『試験・スクーリング 情報ブック 2013』より変更。
春期スクーリングⅠ (3/21~3/30)	申込みハガキ	3月6日(木)
春期スクーリングⅡ (4/5~4/20)	申込みハガキ	3月18日(火)
3月在宅web科目修了試験	レポート・ 申込メール	3月4日(火)正午
追加履修申込締切 (10月生のみ)	巻末申込書	2月25日(火)

	受付日	
<b>レポート</b> (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	2月18日(火)	2月28日(金)
	3月11日(火)	3月18日(火)
	3月31日(月)	

## ■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締 切 日	備 考
<p>★■社会福祉援助技術演習 A 2・3単位めレポート*</p> <p>◆社会福祉援助技術演習 I 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)</p>	<p>5・6月「★■演習 B」「◆演習 II」 受講希望者 →3月15日(土)</p> <p>*「演習 A」4 / 12・13受講予定 者=3単位めレ ポートは受講後 で可</p>	<p>『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「★■演習 A」 p. 131~136 「◆演習 I」 p. 188~192</p>
<p>★■社会福祉援助技術演習 B・◆演習 II スクーリング受講申込み (本冊子巻末「演習科目スクー リング申込用紙」を提出)</p>	<p>5・6月受講希望者 →3月15日(土)</p>	<p>本冊子 p. 70 + 『レポート課題 集2013 (社会福祉 編)』 「★■演習 B」 p. 137~142 「◆演習 II」 p. 193~197</p>

## ■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
<p>◆★精神保健援助演習 スクーリング受講申込み (本冊子巻末の申込用紙を提出)</p>	<p>6・7月受講希望者 →3月15日(土)</p>	<p>本冊子 p. 74 + 『レポート課題 集2013 (社会福祉 編)』 「◆★演習」 p. 234~239</p>

	締 切 日	備 考
<b>■精神保健援助実習A</b> 事後レポート	3 / 1・2受講者 →2月17日(月)	
<b>■精神保健援助演習C</b> (実習免除者用) スクーリング受講申込み (本冊子巻末の申込用紙を提出) + 1単位めレポート	5 / 17・18受講希望者 申込み →2月28日(金) レポート →4月30日(水)	本冊子 p. 76~79 + 『レポート課題 集2013 (社会福祉 編)』 「■演習A」 p. 230~233 「■演習B・C」 ※対象者に個別配 付の冊子参照。
<b>■精神保健援助演習B</b> 2単位めレポート	2 / 1・2受講者 →2月28日(金) 3 / 1・2受講者 →3月31日(月)	

## ■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書(・個人調 査票のコピー)提出	4月実習開始者 →2月15日(土) 5月実習開始者 →3月15日(土)	※事前指導受講済 者のみ対象
<b>教育実習の事前事後指導</b> 事前指導スクーリング受講申込み (巻末の春   スクーリング申込 ハガキを提出)	3月受講希望者 →3月6日(木)	『レポート課題集 2013 (心理・教職 編)』 p. 174~177
<b>障害者教育実習の事前・事後指導</b> 事前指導スクーリング受講免除 のための書類提出	3月受講免除希望者 →2月14日(金)	『レポート課題集 2013 (心理・教職 編)』
<b>障害者教育実習の事前・事後指導</b> 事前指導スクーリング受講申込み (巻末の春   スクーリング申込 ハガキを提出)	3受講希望者 →3月6日(木)	p. 245~250

## ■その他

---

### ●4月生（正科生）

- ・年度内評価レポート提出期限 2月28日(金)
- ・学費納入期限 3月31日(月)
- ・休退復学届提出期限 3月31日(月)

### ●心理学研究法Ⅱ 1単位めレポート提出期限

(3月スクーリング受講済者) 3月11日(火)

### ●3月卒業希望者

- ・再提出レポート提出期限・スクーリング受講期限 2月20日(木)
- ・心理学研究法Ⅱ 1・2単位めレポート提出期限  
(3月スクーリング受講済者) 3月4日(火)

---

# 基礎演習スクーリングを終えて

---

教員 MESSAGE

講師 門脇佳代子

---

## はじめに

去る12月7・8日に仙台の本校地にて「基礎演習」のスクーリングが開講されました。この科目は、一言でいうならば勉強の仕方について学ぶ授業ですが、単に技術的なものを身につけるだけではないと考えています。スクーリングを終了し、教室を出ていかれる時の明るい笑顔や、「(滞っていた)レポートを書こうと思えた」「共に学ぶ友人との出会いは自分にとって大きな収穫」といった声を聞くと、知ることの楽しさを感じ、また大学で学ぶことの意義を考えてもらうことこそが大事なのだと思うのです。受講生の皆さんと過ごしたこの2日間の所感を述べ、学習に迷いを感じている方へのエールとさせていただきますと思います。

---

## 「基礎演習」とは？

大学で開設される科目には、講義・演習・実習の3通りがあります。演習とは大学などで、教員の指導のもと、参加する学生自身が研究・発表・討議を行うことを主眼とした、双方向かつ実践的な授業の形式をいいます。通常20名程度の少人数で行われ、クラス全員が主体的に参加することが求められます。

「基礎演習」のスクーリングでは、4、5人程度のグループに分かれて興味関心に沿ったテーマを設定し、図書館やインターネットを駆使して情報を集めます。そしてそれらを元に、問題の現状、解決策、今後の展望などを整理して発表要旨(レジュメ)にまとめ、授業の最後にクラス全員の前

でグループごとの発表と討議を行います。実はこの2日間で行う学習の流れは、レポートの作成手順と大きく関わってきます。

レポートを書く際には、まず指定のテキストや参考図書を読むことと思いますが、それらを読むだけでは不十分なことが往々にして起こります。課題図書の内容が難しいと感じた時、またはより掘り下げて学びたいと考えた時、あなたはどのようにして資料を探しますか？それぞれに自分なりの調べ方をお持ちと思いますが、有効な情報を効率よく集めるにはいくつかのポイントがあります。例えば、図書館で本を探す場合、OPAC（オンラインでの図書館蔵書目録）の検索活用方法や本の分類記号をあらかじめ知っているか否かで大きな差がでます。またインターネットに関しても、手軽に調べられるメリットの一方で、情報の質が玉石混交というデメリットがあることも認識しなければなりません。これらは自分自身で繰り返し体験することで身につくものですが、まず一度やってみることで、意識して行動できるようになります。

また、主張やその根拠が聞き手に伝わるようにまとめる作業は、まさにレポート執筆と共通します。スクーリングでは時間内に発表と質疑応答を行いますので、根拠としたデータが適切であったか、自分たちの考えが正しく相手に伝わったかを、直に感じるすることができます。逆に他のグループの発表を聞くことで、どうすれば説得力をもって論を展開できるのか、聞き手が不十分に感じるのはどこかなどを知ることができます。一人でレポートを書いていると、つい書くことに一生懸命になってしまい、読み手の視点が疎かになることがあります。しかしレポートは自分の学習成果を報告するためのものなので、読み手に伝わらなければ意味がありません。通信での学習にとって、レポートもまた教員との一對一の大事な授業なのです。レポートの向こう側に、皆さんの学習成果を楽しみに待っている教員を思い浮かべつつ、執筆いただければ幸いです。

## 学友との出会い

---

「基礎演習」のスクーリングで、特に強く声掛けをしていることがあります。それは、この2日間でたくさんの方と友達になってください、ということです。勉強を続けるのは、決して楽なことではありません。テキストの内容が理解できずに投げ出したくなったり、職場や家庭の仕事に追われて時間がとれなかったり、レポートの再提出が続いたり…、「もう止めてしまいたい」と一度も思わない人はいないのではないかと思います。特に一人で机に向かうことの多い通信教育では、悩みの解決方法がわからず、深みにはまってしまうことがあります。しかし、その苦しみは多くの学生の方が日々感じ、そして乗り越えてきたものと思います。「励まし合える友人に救われた」という声を聞くたび、多くの方に出会いのチャンスと、願わずにいられません。

また、通信教育部には年代も職業も異なる多くの方が同じ学生として在籍しています。普段の日常生活の中で、これほど多様な立場の人と、垣根を越えて接することはまずないでしょう。各種のスクーリングには、自分と近い興味関心をもつ人たちが集まっているのだとしたら、この出会いに目を向けられない手はありません。

とはいえ講義形式のスクーリングにおいて、他の受講生に声を掛けるのに躊躇する方もいるでしょう。「基礎演習」の主な内容はグループワークなので、必然的に力を合わせて励むこととなります。2日間という限られた時間ではありますが、密度の濃い友情を育まれているように感じます。一人での学習に不安を感じている方、励まし合える友人をつくりたいと考えている方には、「基礎演習」をお薦めします。



## おわりに

---

はじめに申し上げたように、「基礎演習」では勉強のスキル習得だけでなく、学習に対する前向きな気持ちを大切にしています。卒業や資格取得を目指すのはもちろん大事なことです。物事を調べて、自分の頭で考え、新しい何かが自分の中でストンと理解できた時の喜びをぜひ感じてほしいのです。「基礎演習」に参加する受講生の多くは、通信制大学での勉強に対して多かれ少なかれ不安や迷いを感じています。しかしちょっとしたきっかけで、乾いた砂が水を吸い込むようにみるみる変わっていく姿に、いつも驚かされます。わたくし自身、このスクーリングのたび、勉強することを楽しいと感じる新鮮な気持ちを思い返し、初心に帰るとても貴重な体験をさせてもらっています。「レポートが書けない」と迷っている方はぜひ、「基礎演習」に参加してみてください。自分の中の可能性に気づききっかけになることと思います。

## スクーリング・アンケートより

スクーリング・アンケートより、受講後の感想の一部を紹介いたします。

### ●介護概論

- ・理念や目標など言葉だけでなく、具体的に実践することが大事だと改めて思いました。様々な価値観や考え方がある中で自分の中の価値観も大切にしていこうと、その上で一人ひとりの価値観を尊重していこうと思います。認知症の方との具体的なやりとりがたくさんあってすごくよかったです。相手の立場に立って深く理解して接していきたいです。
- ・ターミナル期の介護も含め、生きていてよかったと利用者に思ってもらうこと、自分も含め世界一の長寿国と世界に言うことができるような仕組みづくりが求められていることが分かりました。自己決定の際の留意点で利用者が適切な判断を下した結果であるか、真の自己決定なのかももう一度考える必要があると強く感じました。
- ・先生の現場でのお話はリアリティがあり、非常に参考になりました。お話の中で印象に残ったのが「取り戻すことができない3つの事柄 ①時間②信頼③言葉」という言葉で、これは福祉にとどまらず人間関係において常に気を配らなければならない最も重要なことだと思いました。また「アルツハイマー患者10のおねがい」は胸にひびきました。

### ●地域福祉論

- ・地域移行している中、地域福祉の重要性を大いに感じた。実践するにあたっての、住民への働きかけ、調査など実際にフィールドワークされていた先生の経験を交えて聞けることができ、自分の仕事へ役立てることのできる手法を学べた。特に社会福祉法第3条の条文説明時、利用者本人とサービスを提供する者が対等でなければ個人の尊厳は守られないというお話があり、胸に響きました。
- ・偽善者の発想では、本当の社会福祉・地域福祉にはならないと考えさせられた。自分のことという視点でとらえられるか、できそうでできないのはなぜか、ここが問題である。やはり人は一人では何もできない、周囲を巻き込みながら一方的な指示ではなく皆で決めることに意義があると思った。